

## クビアカツヤカミキリの早期発見・防除に努めましょう！

### 1 発生状況

クビアカツヤカミキリ（写真1）は、幼虫がもも、うめ、さくら等のバラ科樹木の樹幹内部を食い荒らして衰弱・枯死させる（写真2）害虫です。栃木県内では平成29（2017）年に県南西部で被害が初確認されて以降、県南西部を中心に被害が報告されてきましたが、令和4年度には新たに宇都宮市、鹿沼市、さくら市、下野市でも被害が確認されるなど、被害が拡大しています（図1）。

クビアカツヤカミキリの幼虫が寄生した木からは、5月頃からフラス（フンと木くずの混ざった物：写真3）が排出されます。クビアカツヤカミキリは産卵数が多いため、総合的な対策で園内の生息密度を徹底して下げることが重要です。生産園地でもフラスの発生有無をこまめに確認し、早期発見及び早期防除に努め、被害の発生と拡大を防ぎましょう。

国土地理院承認 平14総機 第149号

■ R3年度以前に被害が確認された地域  
■ R4年度に被害が確認された地域

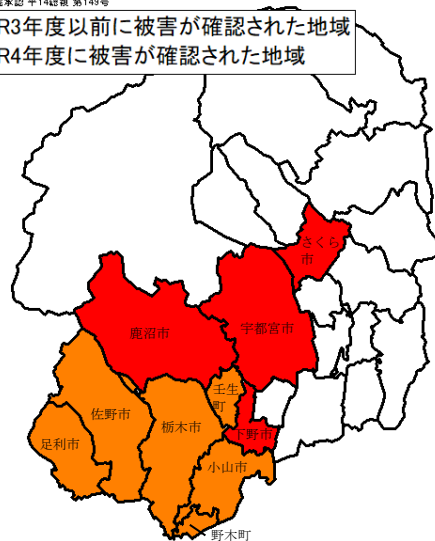


図1 被害発生地域

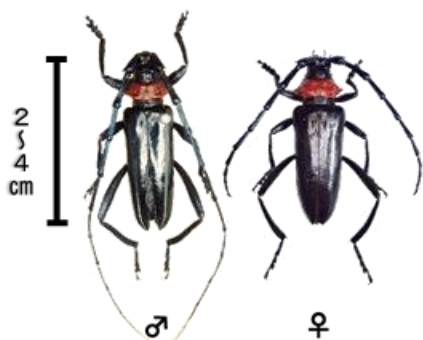


写真1 クビアカツヤカミキリ成虫



写真2 被害木（もも）



写真3 株元のフラス

### 2 防除対策のポイント

#### (1) 幼虫の防除（4月～10月）

- ・針金や千枚通し等で坑道内の幼虫を刺殺する。
- ・フラス排出孔のフラスを除去し、幼虫を対象としたスプレー剤を噴射する（表1）。スプレー剤は薬液がフラス排出孔から滴るまで十分量を噴射する。

#### (2) 成虫の防除（6～8月）

- ・成虫発生時期に、成虫を対象とした薬剤を複数回散布する（表2）。なお、もも・すもも等では成虫発生時期と収穫時期が重なるため、薬剤の収穫前日数や使用回数に注意する。
- ※佐野市南西部における成虫初発日は6月1～3日頃の見込み（栃木県農業試験場：[リンク](#)）。
- ・園内を定期的に巡回し、成虫を見つけたら直ちに捕殺する。
- ・羽化した成虫の分散を防止するため、被害部にネットを巻き、定期的にネット内の成虫を潰すなどして殺虫する。目合が細かく強度のあるネットを使用し、ネットの端や地際をしっかりと固定するなど、成虫がすき間から脱出できないようにする。
- ・傷果や腐敗果は成虫を誘引するので、園外に持ち出して処分する。

#### (3) 被害木伐採後の処置について

被害木は原則9月～翌年4月の期間中に伐採し、粉碎するか焼却場に持ち込み焼却処分する。伐採木は発生源となるため放置せず、速やかに処分する。

（注）本種は特定外来生物に指定されており、生きた虫の飼育、運搬、放虫等が法律で禁止されています。伐採木の運搬や保管には、逸出防止措置が必要です。詳細については、各農業振興事務所にお問合せください。

### 3 クビアカツヤカミキリの防除薬剤 (令和5(2023)年5月10日現在)

表1 幼虫の食入孔に使用できる主な薬剤

作物名	薬剤の名称	使用時期	使用方法	使用回数	IRACコード
もも すもも うめ	ベニカカミキリムシエアゾール*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3A
	ロビンフード*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	

\*:カミキリムシ類に登録のある薬剤

表2 成虫発生時期に使用できる主な薬剤

作物名	薬剤の名称	使用時期	希釈倍数/使用量	使用方法	使用回数	IRACコード
もも	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	
	ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	散布	3回以内	28
	ベニカ水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	散布	3回以内	
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	
すもも	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	アクタラ顆粒水溶剤**	収穫7日前まで	2000倍	散布	2回以内	
	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	2000倍	散布	3回以内	28
	テッパン液剤***	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	
うめ	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	散布	2回以内	
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	
	ベニカ水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	22B
	アクセルフロアブル	収穫前日まで	1000倍	散布	3回以内	
	テッパン液剤***	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	

\*\* :小粒核果類(うめを除く)に登録のある薬剤

\*\*\* :小粒核果類に登録のある薬剤

○[クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル](#)では、写真付きで防除方法を掲載しています。  
 ○クビアカツヤカミキリを発見した場合は、農業環境指導センター (TEL : 028-626-3086) まで御連絡ください。 ([クビアカツヤカミキリ注意喚起チラシ](#))

詳細は、農業環境指導センター (TEL 028-626-3086) までお問合せ下さい。  
 病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi\_nousei)」、「農業環境指導センターホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>)」でもご覧になれます。